

立花家史料館 年報
第五集

平成25年11月～平成26年12月

立花家史料館

はじめに

立花家史料館は江戸時代を通じて柳川を治めた大名、立花家に伝来する美術工芸品を収蔵しています。昭和26年に御花歴史資料館が発足し、柳川藩主立花家別邸御花の邸内において、大名道具の展示公開を行ってまいりました。平成6年には貴重な文化財を展示するのにより適した施設として、新たに御花史料館が開館、平成23年2月に立花家史料館と名称を変更いたしました。平成25年12月3日には、運営母体が株式会社御花から一般財団法人立花財団へと移り、博物館活動のさらなる充実へとスタートをきりました。

このたび、平成25年12月3日～平成26年11月まで(立花財団第1期)の当館における諸般の活動をまとめ、立花家史料館年報第五集として刊行いたします。

展示活動においては、柳川藩主立花家に伝来する美術工芸品の平常展示を行うほか、定期的に特集展示を開催し、たくさんの方々にご来館いただきました。

教育普及活動においては、これまでの御花文化講座(通年6回12講座)を立花家史料館文化講座として柳川のみならず、九州各地の大名家にかかわる歴史と文化を学ぶ場としてこれまで以上に充実した内容といたしました。

また、財団法人化を機に、九州地区の武家文化の研究拠点として「九州大名家資料研究会」を発足し、第一回大会を柳川古文書館の協力のもと開催いたしました。

今後も筑後地域における文化活動の拠点として、館活動の充実に努めてまいりますので、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年11月
財団法人立花財団
立花家史料館
館長 植野 かおり

目次

はじめに	1
組織	3
展示活動	3
教育普及活動	5
その他の事業	6
施設の利用状況	7
収蔵資料の活用状況	8
史料館日誌	10
収蔵品利用規定	13

組織

職員一覧

職名	氏名
財団法人立花財団 理事長	立花 宗鑑
立花家史料館 館長	植野 かおり
立花家史料館 学芸員	坪内 広子
立花家史料館 学芸員	内海 高子
財団法人立花財団 総務	横田 優子

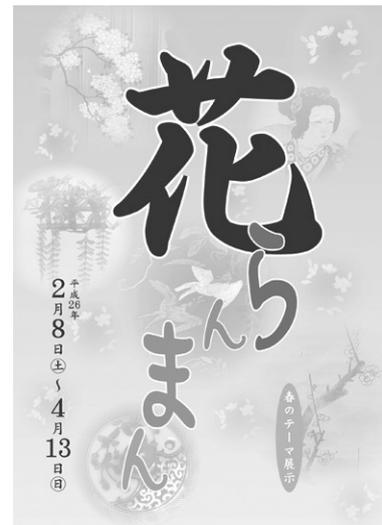
展示活動

当館では展示室において近世大名立花家の歴史文化を紹介する平常展示を行うほか、同展示室において定期的に特集展示を開催している。平成26年度(第1期)の平常展示、特集展示の詳細は以下のとおりである。

春のテーマ展「花らんまん」

■会期 平成26年2月8日～4月13日

本展では、花の美しさを描いた絵画や能装束、様々な技法で花の姿をあらわした工芸品、華やかな宴を彩っていた酒器類と茶弁当をあつめて展示した。また、「柳川の雛祭りさげもんめぐり」の季節に花を添えられるよう、花に喩えられる女性の美しさを描いた絵画や、姫さまたちの華やかな婚礼調度もあわせてご紹介した。



特集展示「よくわかる刀剣の見方ー柳川藩主立花家伝来の刀剣」

スポット展示「大名家の美と格式 江戸幕府の御用絵師 狩野探幽」

■会期 平成26年4月19日～6月日

特集展示「よくわかる刀剣の見方ー柳川藩主立花家伝来の刀剣」

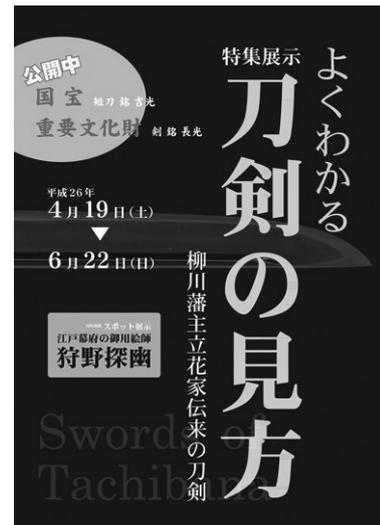
大名であった江戸時代の立花家は家格に相応しい刀剣を多数所持していたが、現在、立花家史料館が所蔵する立花家伝来の刀剣は20口にも及ばない。しかし、これらの刀剣は、国宝の短刀や重要文化財の剣をはじめ、立花家にとって最も重要な刀剣ばかりであり、刀剣が今に至るまで残されてきた経緯には、そのまま立花家の歴史が映し出されている。

本展では、柳川藩主立花家に伝来した刀剣と鐔・目貫・小刀・筭などの刀装具を紹介するとともに、難解と思われがちな刀剣の鑑賞法をわかりやすく解説した。

スポット展示「大名家の美と格式 江戸幕府の御用絵師 狩野探幽」

狩野探幽は江戸幕府の開封時から召し抱えられた。探幽以降、幕府御用絵師の最高の職位は、世襲によって代々狩野派が勤めることとなる。江戸時代の大名にとって、絵画は、鑑賞を楽しむ美術品であるだけでなく、自らの格式を示す重要な道具であった。そのため、幕府御用絵師であった探幽の作品は諸大名から求められ、多くの大名は幕府にならって狩野派の絵師を召し抱えた。

本展では、立花家に伝わる狩野探幽の絵画5点を展示した。



子ども企画展「あつまる！アニマル！たまに・・・オバケ？」

■会期 平成26年6月28日～8月31日

立花家史料館の収蔵品には、歴代藩主の甲冑や刀剣などの武具類はもちろんのこと、掛軸や屏風などの絵画作品もあれば、藩主の身の回りを彩った文房具や茶道具、姫さまたちの婚礼のために調えられた蒔絵の調度などの美術工芸品もあり、江戸時代の大名の暮らしぶりをうかがい知ることができる。

夏休み期間にあわせて開催した本展では、伝来の大名道具のなかから、子どもたちが親しみやすいように、動物があらわされた作品を集めて展示した。展示室には、楽しみながら大名道具を学べる「お題」が設定され、おとなも子どもも気軽に挑戦できるようにした。また広島県の武士・稲生武大夫が16歳のときに30日間にわたってオバケと対決した実話を元に作られた、全3巻の長い絵巻「芸州武大夫物語」を、6期に分けて全公開した。

〈関連イベント〉

■期間 平成26年7月21日～8月31日

夏休み期間にあわせて、関連イベントを開催した。

- ・小学生以下の入館者に「おばけカード」(全8種)を1枚プレゼント
- ・クイズの正解者には「おばけカード」をさらにもう1枚プレゼント
- ・おばけのぬりえ屏風
- ・「へっちゃらへいたろうしんぶん」発行(全7号)



秋のテーマ展「お茶をたしなみ お香をたのしむー柳川藩主立花家伝来の茶道具・香道具ー」

■会期 平成26年9月6日～(12月21日)

お茶とお香は、江戸時代の上級武士にとって修めるべき教養であり、そのために家の格にふさわしい道具が集められた。立花家でも柳川藩主の名に恥じない名品を数多くそろえていたことが、当時の道具帳などから確かめられる。本展では、立花家伝来の美術工芸品のなかから、お茶とお香にまつわる選りすぐりの作品を紹介した。



教育普及活動

(1) 御花文化講座(平成26年5月より「立花家史料館文化講座」と改称)

[平成25年度]

第5回 平成26年1月22日

「柳川の藩札」 白石 直樹(柳川古文書館 学芸員)

「九州諸将の甲冑くらべ」 植野 かおり(財団法人立花財団 立花家史料館 館長)

第6回 平成26年3月26日

「立花家と第九十六国立銀行」 内山 一幸(柳川市史専門研究員)

「幕末・明治の写真について」 植野 健造(福岡大学人文学部文化学科 教授)

[平成26年度]

第1回 平成26年5月21日

「能面と殿さま」 杉山 未菜子(福岡市博物館 学芸員)

「柳川藩のお抱え絵師 梅沢晴峯」

植野 かおり(財団法人立花財団 立花家史料館 館長)

第2回 平成26年7月23日

「10代佐賀藩主鍋島直正と御一家 一愛娘への直筆の手紙」

富田 紘次(公益財団法人鍋島報効会 徴古館 学芸員)

「立花藩と黄檗文化」 錦織 亮介(福岡市美術館 館長)

第3回 平成26年9月24日

「近代庭園の特徴と立花氏庭園」

正田 実知彦(福岡県教育庁総務部文化財保護課)

「風景王国 一柳川ゆかりの洋画家龍駿介がみた山河」

江島 香(柳川古文書館 学芸員)

第4回 平成26年11月26日

「細川家伝来の美術工芸品 一細川家の武器と武具」

才藤 あずさ(熊本県立美術館 学芸員)

「古文書に見る柳川藩士の生活」 白石 直樹(柳川古文書館 学芸員)

(2) その他のイベント

[近世大名立花家初代・戸次道雪生誕500年記念 イラストコンテスト]

主 催:柳川藩主立花邸 御花、立花家史料館

協 賛:三柱神社、豊後大野市観光協会、道雪の里・絆ネットワーク、九州歴史資料館

部 門:ぬりえの部(小学生以下)

イラストの部(テーマ「戸次道雪と九州戦国絵巻」)

応募締め切り:平成25年12月15日(当日必着)

受賞作品発表:平成25年12月25日午前10時 立花家史料館公式サイトにて

近世大名立花家初代・戸次道雪の生誕500年を記念して開催。全国からイラスト・ぬりえ併せて 点の応募があった。

◇応募作品展

期 間:平成25年2月15日～4月13日

会 場:柳川藩主立花邸 御花 入園無料エリア

立花家史料館 出口エリア

[立花氏庭園友の会会員限定特別企画「歴史をつなぐ3つの物語ツアー(東京編)」]

日 時:平成26年11月14日～15日

主 催:財団法人立花財団

立花財団発足一年目を記念した、友の会会員様限定の特別企画として、時代の変わり目起こった様々な危機を乗り越え、立花家の歴史資産を今に繋いだ三人の当主、2代宗茂、14代寛治、16代和雄にスポットをあてたツアーを開催した。

1日目は霞会館でトークイベントと晚餐会、2日目は立花家ゆかりの地(宋雲院・広徳寺・西町太郎稲荷)を解説付でめぐった。

(3) 博物館実習受入

[平成26年度]

期 間:平成26年8月18日～8月29日(10日間)

人 数:2名

内 訳:佐賀大学、筑紫女学園大学

その他の事業

[平成25年度]

(1) 国指定名勝立花氏庭園 西洋館・大廣間保存修理工事 第一期

期 間:平成25年5月15日～10月19日

本修理工事は、平成25年から27年にかけての3ヵ年の計画で実施される。平成25年度は、建物本体の劣化防止を目的として、前回の塗り替えから25年以上が経過、経年劣化により全体的に剥落を始めた西洋館外壁のペンキ塗り替えを実施した。併せて、押さえの漆喰が劣

化し棧から窓ガラスが外れ落下する危険性が高い西洋館外壁の窓の修理、及び建物外部の高所に位置するため日常管理が行き届かない樋や小庇等の修理を行った。また、平成24年8月にき損した門番詰所ドーム屋根の頂華飾りの修理を行い、併せて、劣化していた外壁の修理及び部分的な外壁のペンキ塗り替えを実施した。更に、恒常的に深刻な雨漏り被害を受けている大廣間西側の屋根の一部を修理した。

- (2) 第1回九州大名家資料研究会
日 時: 平成26年3月29日
会 場: 柳川古文書館(柳川市隅町)

施設の利用状況

史料館入館者数(庭園と共通券のため庭園入園者も含む)

	平成26年度
12月	8,979
1月	7,321
2月	16,054
3月	24,647
4月	9,253
5月	16,122
6月	10,178
7月	10,378
8月	10,900
9月	10,162
10月	13,081
11月	18,098
合計	155,098

収蔵資料の活用

資料の貸与

申請年月日	申請者	利用目的	利用資料
平成25年12月3日	府中市美術館	「江戸絵画の19世紀」展示	花下遊楽図、夜宴幽賞図、近江八景図
平成25年12月19日	熊本県立美術館	コレクション展第IV期「細川コレクション	百馬及牛毛物弁定図巻
平成26年8月13日	大分県立歴史博物館	平成26年度特別展「九州の戦国」展示	大友文書、立花文書
平成26年9月19日	柳川市教育委員会	柳川古文書館企画展「風景王国－柳川ゆかりの洋画家龍駿介がみた山河－」展示	旭日昇天の時
平成26年10月6日	大分県立美術館	モダン百花繚乱－「大分世界美術館」	茶杓 伝 千利休

資料の掲載・放映

申請年月日	申請者	利用目的	利用資料
平成25年12月3日	株式会社アッシュ	分冊百科「歴史ドキュメント刻一刻1号」掲載	立花宗茂像
平成25年12月3日	株式会社時事通信出版局	書籍「歴史に学ぶ先見力」掲載	鉄鍬革包月輪文最上胴具足
平成25年12月26日	株式会社フォーチューンボックス	書籍「戦国を生きた女たち」掲載	立花宗茂像
平成26年1月16日	株式会社求龍堂	府中市美術館「江戸絵画の19世紀展」図録掲載	花下遊楽図、夜宴幽賞図、近江八景図
平成26年1月17日	NHKプロモーション	特別展「軍師官兵衛」図録掲載	立花宗茂像
平成26年2月6日	水の郷自主事業実行委員会	市民劇団くもで座 3月公演チラシ・ポスター掲載	鉄鍬革包月輪文最上胴具足

平成26年2月 20日	テレビ朝日映像 株式会社	B S 朝日「歴史発見 城下町へ行こう！」 放映	鉄鍔革包月輪文最上胴具 足、柳川旧城図、立花文子 古写真など
平成26年2月 21日	LOCAL & DESIGN 株式会 社	webサイト掲載	雛調度、雛人形、賀茂人形
平成26年2月 26日	株式会 社 スー パーセンス	雑誌「SENSE」掲載	黒漆塗大文字形兜
平成26年3月 7日	株式会社双葉社	雑誌「EX大衆」掲載	黒漆塗大文字形兜、黒漆塗 兜巾形兜
平成26年4月 16日	株式会 社 アン メック	日本テレビ「クイズ!? 正解は出さないで」放 映	黒漆塗大文字形兜
平成26年4月 17日	株式会社ワード ワン	書籍「日本鎧兜の本」 掲載	鉄鍔革包月輪文最上胴具足
平成26年4月 28日	株式会社KADO KAWA 中経出 版ブランドカンパ ニー	書籍「立花宗茂－ 「義」という生き方」掲 載	立花宗茂像、鉄鍔革包月輪 文最上胴具足
平成26年6月 17日	株式会社NHK エンタープライズ	NHK BSプレミアム 「英雄達の選択」放映	立花宗茂像
平成26年6月 23日	株式会 社 ア ッ シュ	書籍「絶対に見ておき たい日本の国宝」掲 載	短刀 銘 吉光
平成26年7月 18日	株式会社ブロック バスター	webサイト掲載	江戸失火消防ノ景
平成26年8月 22日	株式会社NHK エンタープライズ	NHK BSプレミアム 「英雄達の選択」放映	立花家古フィルム映像
平成26年8月 26日	株式会 社 宮 帯 出 版 社	書籍「異形兜」掲載	伊予札縫延栗色革包仏丸胴 具足、黒漆塗大文字形兜、黒 漆塗兜巾形兜
平成26年9月 8日	RKB映画社	RKB「ふくおかクロニ クル」放映	立花宗茂像
平成26年10 月1日	みやま市教育委 員会	「みやま市史 人物伝 (仮)」掲載	立花宗茂像、金箔押桃形兜、 双鶴図他

平成26年11月11日	柳川市役所観光課	「ひなの国九州2015版ガイドブック」掲載	有職雛
平成26年11月28日	株式会社草樹社	書籍「暦と日本人 88の謎」掲載	金地三日月図軍扇

史料館日誌

- 12月3日 財団法人立花財団発足
第1回立花財団役員集会
- 12月11日 史料館観覧者の案内
- 12月16日 甲冑修理調査のため土佐山内家宝物資料館学芸員来館
- 12月17日 館長室工事(～20日)
- 12月19日 展示資料集荷のため熊本県立美術館学芸員来館
史料館ホームページ英訳打ち合わせ
- 12月20日 株式会社御花との連絡会
- 12月24日 旧門番詰所より家具搬出
- 12月26日 打ち合わせのため河上建築事務所を訪問
- 12月28日 館長室設備打ち合わせ
- 1月6日 能面調査のため 来館
- 1月7日 学芸会議
- 1月20日 株式会社御花との連絡会
- 1月22日 第5回御花文化講座
- 2月3日 史料館展示替え(～6日)
- 2月7日 取材のため大分合同新聞記者来館
- 2月8日 安東省菴研究会へ史料館案内
- 2月9日 北九州市立自然史・歴史博物館歴史の会へ史料館案内
- 2月17日 照明技術研修のため佐賀県立博物館・美術館を訪問
- 2月18日 学芸会議
- 2月20日 打ち合わせのため久留米市教育委員会を訪問
- 2月21日 株式会社御花との連絡会
史料館観覧者の案内
- 2月26日 名勝立花氏庭園整備委員会
- 3月5日 デジタルアーカイブス研修のため佐賀大学を訪問
- 3月11日 展示資料集荷のため府中市美術館学芸員来館
展示資料集荷のため佐賀城本丸歴史館学芸員来館
- 3月19日 萬古焼調査のため朝日町歴史博物館学芸員来館

3月26日 第6回御花文化講座
 株式会社御花との連絡会
 3月27日 学芸会議
 3月29日 第1回九州大名家資料研究会開催
 4月14日 史料館展示替え(～18日)
 4月22日 展示資料返却のため熊本県立美術館学芸員来館
 4月25日 立花家史料館開館20周年
 4月28日 株式会社御花との連絡会
 4月30日 学芸会議
 5月9日 タイのドラマ撮影立ち会い
 5月10日 安東省菴研究会へ史料館案内
 5月16日 展示資料返却のため府中市美術館学芸員来館
 5月21日 第1回立花家史料館文化講座
 5月22日 柳川絆の会にて講演
 5月26日 株式会社御花との連絡会
 5月28日 柳川ロータリークラブ合同例会にて講演
 5月29日 学芸会議
 6月1日 史料館観覧者の案内
 株式会社御花との臨時連絡会
 6月4日 名勝立花氏庭園整備委員会
 6月7日 史料館観覧者の案内
 6月18日 新聞スクラップ視察のため福岡市美術館を訪問
 6月19日 福岡県博物館協議会出席(会場:北九州市立美術館)
 6月22日 史料館観覧者の案内
 6月23日 史料館展示替え(～27日)
 6月30日 史料館観覧者の案内
 7月2日 名勝立花氏庭園整備委員会
 学芸会議
 7月9日 市内小学生総合学習に対応
 7月15日 財団打ち合わせ
 7月16日 立花家への古映像・古写真聞き取り調査
 7月23日 史料館観覧者の案内
 第2回立花家史料館文化講座
 7月25日 史料館一部展示替え
 7月28日 株式会社御花との連絡会
 8月1日 史料館観覧者の案内
 財団打ち合わせ
 史料館一部展示替え
 8月5日 学芸会議
 8月7日 Googleアートプロジェクト打ち合わせ

- 8月8日 史料館一部展示替え
- 8月15日 史料館一部展示替え
- 8月18日 立花財団臨時評議員会
- 8月20日 名勝立花氏庭園整備委員会
- 8月22日 史料館一部展示替え
- 9月1日 史料館展示替え(～5日)
- 9月9日 学芸会議
- 9月10日 株式会社御花との連絡会
- 9月11日 文化庁名勝委員会視察に立ち会い
- 9月13日 安東省菴研究会へ史料館案内
- 9月16日 打ち合わせのため河上建築事務所を訪問
- 9月18日 文化財修復打ち合わせ
- 9月24日 第3回立花家史料館文化講座
- 9月26日 友の会ツアー打ち合わせのため霞会館・朝日信用金庫・台東区東上野一丁目町内会を訪問
- 10月2日 打ち合わせのため柳川フィルムコミッション来館
視察のため延岡市職員来館
学芸会議
- 10月3日 特別展打ち合わせのため福岡市博物館学芸員来館
- 10月5日 視察のため熊本城おもてなし武将隊来館
にて講演
- 10月15日 名勝立花氏庭園整備委員会
- 10月19日 調査のための家政局撮影立ち会い
- 10月20日 福岡県観光課による史料館内撮影立ち会い
- 10月22日 友の会ツアー打ち合わせ
- 10月23日 北九州市PTAツアーへ案内
- 10月30日 友の会ツアー打ち合わせのため朝日信用金庫・台東区東上野一丁目町内会を訪問
- 11月1日 株式会社御花との連絡会
- 11月6日 友の会ツアー打ち合わせのため柳川市観光課職員来館
- 11月7日 史料館観覧者の案内
- 11月10日 展示資料借用のため柳川古文書館学芸員来館
- 11月11日 史料館内テレビ撮影立ち会い
- 11月13日 友の会ツアー最終打ち合わせ
- 11月16日 大分合同新聞取材対応
- 11月19日 韓国映画ロケハン立ち会い
- 11月22日 株式会社御花との連絡会
- 11月26日 第4回立花家史料館文化講座
- 11月27日 福岡県博物館協議会研修会(会場:海の道むなかた館)

収蔵品利用規定

[収蔵品貸出許可規定]

予め、収蔵品貸出依頼書の提出を求める。書式は自由とするが、借用希望資料名、借用希望期間、借用の目的が明記されたものとする。添付資料として、以下の書類をつけること。

- ・展覧会趣意書、もしくは放映番組、映画の企画書
- ・資料の運搬・保管・および消防警備関係がわかる書類
- ・作品貸出および利用承諾書(返信用)と切手を貼った返信用封筒

上記書類の提出は借用希望日の1ヶ月前までに提出することとする。

資料貸出は、原則として有料とする。

- ・甲冑、刀剣は一件につき、三万円
- ・その他は一件につき、一万円

資料貸出の際、借用書の提出を求める。書式は自由とするが、必要に応じて史料室第1号様式の申請用紙を使用する。

借用中に資料の撮影をともなう場合、収蔵品画像利用許可規定を適用するものとする。

所蔵元は立花家史料館とすること。

[収蔵品画像利用許可規定]

複製資料利用申請書の提出を求める。書式は自由とするが、必要に応じて史料室第2号様式を使用する。

転載による写真掲載料はカラー一件につき三千元、モノクロ一件につき千円とする。(学術要素の強いものは考慮する)

原版使用のフィルム貸出については、別途、フィルム借用書を提出すること。貸出料金は一件につき五千元とする。なお、デジタル画像の貸出に関しても料金はフィルム同様とする。

撮影を伴う利用申請の場合、撮影のため別途会場を用意する必要がある場合、もしくは長時間学芸員の立会いを必要とする場合は、それに応じて撮影料金を申し受ける場合がある。

撮影を伴う利用申請の場合、フィルムのデュープ、インターネガ、もしくはデジタルデータの一部提出と、掲載物の提出を求める。(テレビ、映画の画像の場合は除く)

インターネットによる公開を伴う場合、立花家史料館ホームページへのリンクを依頼する。

掲載については、いずれの場合も所蔵元を立花家史料館と明記すること。

[収蔵品特別閲覧許可規定]

予め、特別閲覧申請書の提出を求める。書式は自由とするが、必要に応じて史料室第3号様式の申請用紙に記入をしていただく。

上記書類の提出は閲覧希望日の2週間前までとする。

特別閲覧は原則として無料とする。ただし、準備、移動、立会いに長時間学芸員の拘束を伴う場合、それに応じて閲覧料を申し受ける場合がある。

閲覧に資料の撮影や模写をとまなう場合、収蔵品画像利用許可規定を適用するものとする。

第1号様式

借用書

下記の通り、物件を借用いたします。

記

一、物件

以上

一、期間

平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日

一、目的

以上

平成 年 月 日

様

借用責任者

印

複製資料利用申請書

立花家史料館 館長 殿

申請者 氏名 / 団体名 : 担当者名 :

代表者 : 印 所属:

住所 : 〒 電話:(直)

(代)

FAX:

利用区分	撮影（写真、ビデオ、映画）、複製（模写、模造、その他： ） 原版利用、転写[]より、その他（ ）		
利用目的	印刷物 名称： 出版： 著(編)者： 発行日：平成 年 月 日 発行部数： 部 定価： 円		
	<input type="checkbox"/> 放映・ビデオ <input type="checkbox"/> 展示 <input type="checkbox"/> 調査研究 <input type="checkbox"/> その他 ()		
希望時間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 (日間)		
資料名 及び 資料番号	資料名	原版利用／転載	カラー／モノクロ カット数
		点数	
		計 件	

次のとおり資料の特別利用を申請します。利用にあたっては利用条件を遵守します。

年 月 日

上記申請を承諾します。

印

第3号様式

平成 年 月 日

特別閲覧申請書

立花家史料館 館長 殿

申請者 氏名／団体名：

担当者名：

代表者：

印 所属：

住所：〒

電話：(直)

(代)

FAX：

利用区分	<input type="checkbox"/> 閲覧のみ		
	<input type="checkbox"/> 閲覧と複写（模写、 撮影： ）		
希望時間	平成 年 月 日	時より	
	平成 年 月 日	時まで	
資料名 及び 資料番号	資料名	IDNo	利用箇所
特記事項		点数 計 点	

次のとおり資料の特別閲覧を申請します。利用にあたっては利用条件を遵守します。

財団法人立花財団立花家史料館 年報 第1集

発行年月日 平成27年11月30日

編集・発行 財団法人立花財団 立花家史料館

〒832-0069 福岡県柳川市新外町1

TEL 0944-75-1060 FAX 0944-75-1792